

5・14～16沖縄闘争へ!

2016年5月2日
No.382

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

4/28全国学生集会での作部羊平 京大同学会委員長アピール!

先ほど武田雄飛丸君が言ったとおり、いま学生自治会が重要です。僕も3月に逮捕されていて長い取り調べを受けて実感したことが、刑事の口から「同学会・自治会」という言葉が一言も出てこないわけです。

やつらは、大学の中に自治会があって、学生が団結して行動することをどこまでも押し隠すことに執念を燃やしている。取り調べでも、「大学の中でお前らは学生に支持されていないんだ」とひたすら言い、京大当局の発行する『キャンパスライフニュース』

では、僕らが京大スト弾圧を粉砕して不起訴釈放をかちとっても、「あいつらは犯罪者なんだ」と繰り返し主張している。そこでは、「不起訴だが無罪じゃない」と言っている。「逮捕された6人のうち5人が学外者だ」とキャンペーンを張っている。じゃあなんで、反戦ストの件で5人の京大生を呼び出しているのか? 敵は学生が学内から決起することを恐れている。学生自治会建設にこそ展望があります。沖大自治会の闘いが前進し、5年目に入った京大同学会は第2波ストに立とうとしている。これが僕らのつくり上げてきた全学連運動です。法大闘争10年の地平で闘い、「新しい労働者の政党をつくろう」と言えるところにまで来たことに誇りを持つ。

4・19学芸大弾圧粉砕の勝利は、京大バリスト弾圧をうち破った地平とまったく同じ内容です。弾圧に「団結の拡大」を対置し勝ちました。団結の中身とは、労働者人民に分け入って獲得したことです。京都市内を中心に一気に釈放要求署名を2500筆超集めた。「ストライキは重要で学生にはもっと闘ってほしい」という思いに応え、京大生が立ち上がる。運動が広がり、弾圧がうち破られていく。

その一方、大学が崩壊しています。京大は『ゴリラ』というネット・システムで、家のパソコンでリスニング練習をさせる。週に1回、課題が決められる。終わらない



と単位がもらえない。「自学自習」と言いながら強制する。学問の中身をすり換え、方法論だけにする。真理探究の学生の能力を根本から否定する。大学カリキュラムなんて、京大ですら崩壊しています。学びたい誇りがどんどん奪われている。大学は予算獲得のために軍事研究をやる。「学問の自由」なんてない。学生が「学び生きる存在」から、「学ばされ殺される存在」になっていく。こんなふざけた現状の中、でも学生は「それでもなんとかしたい」という怒りを持っている。

京大新歓講演会には28人。3月奪還闘争に参加した人たちは全員やってきた。次の運動の核になる部分がどんどん結集している。同学会執行部選挙が次の闘争です。

同学会は5月2日に2つの宣言を発します。一つは『ゴリラ』粉砕。もう一つは情報公開連絡会問題です。山極総長は学生からの意見に応えること拒否している。3月17日は中止、4月27日も中止、「5月も中止」と言っている。座り込みやストライキで闘う。京大内の諸団体とも「この状況で何をなすべきか」の路線論争をやり、何が正義なのかをはっきりさせる。新入生に『ゴリラ』粉砕で結集軸をつくり、沖縄決起をつくり、その勝利を引っさげて執行部選挙で「革命」をけれんみなくアジる。

ここまできたら革命をやるしかありません。この崩壊した社会に、僕らがどう責任をとるのか。次の社会を建設する僕らの正義性と熱意をアジる。僕らが職場・キャンパスで悩み闘う現実の中に、次の社会をつくり出していく力がある。この内容を、執行部選挙で一人ひとりに問うていきたい。執行部選挙に絶対勝利し、その力で7月選挙決戦で京大から東京に押し寄せる。新しい労働者の政党をつくり、日本の階級闘争を塗り替える。鮮明なイメージを持ちながら、それぞれの拠点攻防を全国の闘いと一体で組み上げ、後悔しない闘いを一緒にやろう!

沖大自治会委員長・赤嶺君の4/28法大門前アピール

今日僕は、4・28沖縄デー闘争で、本土と沖縄の学生が団結して「全基地撤去・辺野古新基地建設阻止・安倍政権倒そう」と訴え、デモに出るために東京に来ました。

今日4月28日は、1952年のサンフランシスコ講和条約の発効で日本から沖縄が切り離され、「基地の島」の現実がつくられた日です。いま沖縄では、朝鮮戦争、ベトナム戦争、イラク戦争、あらゆる侵略戦争の出撃基地として沖縄が使われてきたことへの怒りが爆発しています。沖縄の怒りと連帯してデモに出よう！

今日キャンパスに来ている人の中でも、安保法反対デモに行った人は多くいると思います。3月29日に安保法制は施行されました。韓国での米韓連合軍による史上最大規模かつ核先制攻撃を想定した軍事演習、これそのものが戦争行為になっています。まさに朝鮮半島で戦争が始まろうとしている中、安倍政権は安保法で朝鮮侵略戦争に参戦しようとしています。安倍の戦争政治との一大決戦場が沖縄です。この米韓軍事演習に、沖縄米軍基地からF22戦闘機が飛び立ち、海兵隊も軍事演習に参加しています。いま沖縄が戦争出撃基地になっています。

沖縄が米韓合同軍事演習の出撃基地になって、戦闘機や兵器が行き来する中、3月12日に米兵の女性暴行事件が起きました。沖縄は戦争の島であり、これと一体で米兵の事件・事故がくり返されてきた。もうそんな歴史や現実そのものをひっくり返そう。すべての基地を撤去しろ！この怒りを爆発させ、戦争を止める闘いを学生が先頭で闘おう。

安倍政権が辺野古新基地建設を一時中断する、県との「3・4和解」に応じたのは、沖縄の怒りに追いつめられたからです。このままいったら、沖縄の怒りが巨大な全島ゼネストとして爆発する。これを恐れて、安倍は辺野古工事を中断した。予定が遅れに遅れ、アメリカからも圧力をかけられている辺野古新基地建設を止めざるをえない。ここまで安倍や国家権力は追いつめられているんです。

僕らが立ち上がり、「当たり前」とされてきた沖縄の基地の現実、戦争の島の現実を変えるチャンスが来ています。1971年、沖縄で2回にわたってゼネラル・ストライキを闘いました。基地労働者を先頭に、すべての労働者・商人・学生がストライキに入った。沖縄の米軍基地機能が麻痺し、戦闘機・爆撃機が飛べなくなる。沖縄での米軍基地は、米軍の軍事力や日米政府の国家権力の圧倒的物質力で「絶対不可侵」と思わされてきました。その米軍基地を回す基地労働者が



ストで反乱に立ち上がった瞬間、基地機能は麻痺し、戦争はできなくなりました。

社会を動かしているのは労働者です。大学の主人公は学生です。4月新歓での法大ビラのスローガン=『法大生の決起が世界を揺るがす!』、まさに今日がその日です。

東京で法大生が沖大生と連帯し、目の前の鉄柵や職員を突き破って決起する。そのことに多くの沖大生、基地建設の現実にも怒り立ち上がる労働者・学生が勇気づけられます。今日、法大生の反乱から社会を変える闘いを始めよう！先ほどから法大生が外濠校舎2階のブラインドをず

らし、この集会を見ている。僕は本当に感動しています。今日法大当局は、「デモだから門を封鎖する」と言いました。法大当局はどれだけ学生をなめきっているのか！ここまで強烈に教職員を動員してデモを妨害する。これは、法大生の決起がこの現実を一変させる力を持っているからです。

フランスの学生は、労働法制改悪反対の120万人デモとストライキの先頭に立っています。韓国の学生は、戦争と労働改悪を進めるパククネ政権に選挙で反乱を起こし、国会で与党を過半数割れにしてパククネを追い詰めています。

法大当局が安倍と一体で学生を分断するのは、総長・田中優子が法大生が戦争反対を訴えることの大きさを知っているからです。いま自分が立ち上がって、現実がどれだけ変わるのか不安もあると思います。僕もそうでした。だけど、僕らがいま立ち上がることにどれだけ効果があるのか想像できないのは、一人の学生の決起が本当にすさまじい力を持っている、社会を変える力を持っているからです。

沖大も法大と同じように学内でビラまきもできない。今年から学生だけで集会もできないルールがつけられました。しかし一昨日の26日、職員が演説する僕の前に立ちふさがって拡声器のスイッチを切ろうとすることに猛然と抗議し、「学生がビラまきも集会もできない、こんな大学のあり方許せない！沖縄戦の教訓、ひめゆり学徒隊、鉄血勤皇隊、…。沖縄学生が大学図書館で自由を訴える本を奪われたり、髪型や制服の自由を奪われたりする中で戦争に動員されていった。この戦争の教訓を踏みにじり、ビラまきを禁止する大学のあり方はおかしい！」と、僕は熱烈に訴えました。すると沖大生50人が立ち止まり、30分間も僕の演説を聞いて、その場が集会のような状態になりました。今日立ち上がる法大生一人ひとりの決起が、現実を変える力を持っています。ぜひ今日のデモとともに立ち上がろう！

【当面する行動方針】

○5・14~16沖縄現地闘争

5月14日(土)~16日(月) ひめゆり資料館見学、沖縄県民大会参加、国際通りデモ、沖縄大で集会(予定)

○国鉄運動全国運動6・5全国集会

国鉄1047名解雇撤回！改憲一雇用・労働破壊に反撃を！2千万非正規労働者を殺すな！

6月5日(日) 13時~ 江戸川文化センター大ホールにて

【呼びかけ】国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

